

学 園 だ よ り

太 白 山

(令和 5 年 1 号)

宮城県さわらび学園

〒 9 8 2 - 0 2 1 5

仙台市太白区旗立 2 丁目 4 - 1

T E L : 022-245-0333

F A X : 022-245-0515

<https://www.pref.miyagi.jp/sawarabi/>

学園ホームページもご覧ください

「温かい関わりを目指して」

園長 亀井 義憲

皆様、こんにちは。この4月から、さわらび学園の第30代園長として赴任しました。さわらび学園は明治42年9月に宮城県立修養学園として認可を受けて以来、令和5年度で14年目を迎えます。昭和39年4月1日、現在地に移転すると同時に「さわらび学園」と改称され現在に至っており、歴史的にも伝統のある児童福祉施設です。

当時の知事は「石走る垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりけるかも」という万葉集の歌から「さわらび」という語句を引用して、さわらび学園と名付けました。「早わらび(さわらび)」「は厳しい冬を耐え抜いて、いち早く萌えだし、春の大空に向かって何かを掴もうとする意思・希望・闘魂を秘めており、児童の姿の象徴として願いを込めております。

時代が変わり、入所児童の特性にも変化が見られ、支援の在り方も集団処遇から個別支援が中心となり、特性に応じた支援が求められています。しかし、どの児童も温かい関わりや認められたい気持ちは以前から変わっていません。私たちは、児童としっかり向

き合っており、児童が「学園に来てよかった」と感じてくれるような関わりを目指していく所存でございます。皆様、これからもご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。

【令和5年度児童自立支援重点目標】

- ① 児童の権利擁護の推進
- ② 集団生活の安定性を土台とした個別支援の充実
- ③ 職員の専門性の向上
- ④ 児童の見立て及び対応方針の確立
- ⑤ 関係機関との連携強化

「新年度あいさつ」

分教室教頭 阿部博朗

令和5年度がスタートしました。分教室では、今年度の協働型学校評価における到達目標を「よりよく社会に適応し、心身ともに健康で人間性豊かな児童生徒の育成に努める」としました。保護者の皆様や原籍校、関係機関、さわらび学園との連携を進め、目標到達に向けて教育活動を進めてまいりたいと思います。何とぞ御協力をお願いいたします。

4月にこども家庭庁が発足し、「こどもまんなか社会」の実現を目指すことになりました。「こどもまんなか社会」とはどのような社会か、学校教育

はどのような役割を果たしていくことになるのか、まだまだわからないことばかりです。しかし「こどもの権利を大事にする」「こどもたちの声を聞く」「こどもの最善の利益を考える」といった、これまで学園や分教室が大切にしてきた関わり方を続けることに変わりはないのだろうと考えます。

一方、仙台市教育構想2021には基本理念のもと6つの基本方針が示されています。その中の基本方針③には「個性に応じた一人ひとりの学びを促し、長所を引き出す学校教育」とあります。今後も多様性に応じた教育機会の確保や、特別な配慮を要する子どもたちへの支援の充実が一層求められます。

教師は学校に勤務するに当たり、それぞれの学校や地域が抱える課題が何かを把握します。そして、その課題を解決するために子どもたちに何ができるか「使命」を考えます。分教室に勤務する教師にとって、果たすべき使命は明らかです。学園や関係機関との連携を進めながら児童生徒理解に努め、こどもたちにとって安心・安全な空間を準備することに尽きます。突然教室を飛び出してしまうこども、調子が良かったのに突然固まりしゃべらなくなるこども、日によってテンションコントロールができなくなるこ

どもなどなど。なぜこどもたちがそのような行動をとってしまうのか。原籍校や児童相談所、園長先生をはじめ学園の先生方からの情報をもとに精査していくとそれぞれの背景が明らかになります。そうした背景を共有しながら安心・安全な空間を作り、子どもたちの笑顔があふれる分教室を目指していききたいと思います。

「継続は力なり」

指導班長 内海尚彦

学園のグラウンドから眺める太白山が若草色に染まる季節となりました。この四月、新たに九人の職員が学園に着任しました。

在籍している子ども達の多くが、急な予定変更、急な対応、環境の変化を苦手としています。少しでも行動がスムーズにいくように学園では毎週の予定を子ども達に前もって伝えていますが、その時間、その場になってみないと上手くいくかわかりません。上手くいけばよし、上手く行かなければ「何故そうなったのか」を担当職員が時間をかけて丁寧に説明していきま。初めは怒られると思って、子ども達は中々頑な態度をとってしまいま

す。職員は待ちの姿勢で、職員が感じたことなどを伝えます。子ども達にとって職員に自分の気持ちや考えを伝えることが自分の行動を整理する上での第一歩になります。学校や家庭では不適切な態度で怒られたりした経験子ども達は抱えています。それが大人に対する頑なな態度になっていると見立てています。学園に入所してきた児童が職員との関わりの中で自分の気持ちを聞いてもらうことは、子ども達を理解するとともに、子ども達が変わる一歩になると思います。

「継続は力なり」とよく勉強などの場面で使われる言葉ですが、子ども達が自分の気持ちを語り、職員が受け止めることで子ども達が変わる第一歩「ちから」になると信じています。それが学園職員の使命のひとつであることを新しく異動してきた職員とともに共有していききたいと思います。

「子どもたちと一緒に」

広瀬寮長 見立屋航希

昨年度の4月から広瀬寮長になり、今年度が2年目です。昨年度の経験を生かし、より良い寮運営ができるよう、精進します。

さて、今年度は児童2名でスタートし、現時点では3名の児童が在籍しています。昨年度末、高校進学のため、合わせて3名の児童が退所したため、寮内の雰囲気は変わりました。また、職員も3名変更になりました。

昨年度一年間寮長として勤務し、様々なことを考えさせられ、今年度チャレンジしたいと思っていることが多々あります。より子どもたちと対話をしながら寮のルールや日々の確認を行っていくこと、子どもたちがより理解できるような明確な説明と声かけ等挙げればきりがありません。やりたことはたくさんあります。

ただ、基本は昨年度と変わらず、子ども達の長所を認め、困難に立ち向かう気力と解決方法を身に付けられるようになるための支援を目指すこと。子どもたちに求める前に、まず大人側が率先して行動で示し、子どもたちを良い方向へ導くことを意識していきたいと思います。

子ども達の人生において、わずかな期間の学園生活になりますが、「学園楽しかったな」、「いい思い出ができたな」と感じられるよう、日々生活を楽しくしていきたいと思えます。寮職員にも寮生活を楽しんでほしいです。

最後に、個人的な話になりますが、最近久々にスラックスを履いた際、ウエストがきつく、生地が破れるのではないかと心配になりました。また、ベルトの穴の位置が変わっていました。学園に勤務した時点で、心身ともに健康になるだろうと高を括っていました。が、予想に反している状況です。今まで以上に子どもたちと一緒に汗を流し、心身の充実を目指します。

学園写真



お花見子ども会

4月下旬、新しく来た先生方との交流を深める行事としてお花見子ども運動会が開催されました！毎年春に行われる恒例の行事ですが、「勝ち負けにこだわらず、新しく来た人を祝うためにみんなで楽しく」を意識して、子どもたちは楽しんで参加していました。子どもだけでなく、大人も楽しむことが出来たため、とても有意義な時間であったと思います。

お花見子ども会作文

児童R

4月にお花見運動会をしました。私は司会をやりました。少しきんちょうしていたけど、やってみたらすごく楽しかったです。まず最初は綱引きをしました。私はAチームでした。けっこうAチームの勝ちでした。子ども会やくいんとして、いじける人がいなくてよかったです。次に玉入れをしました。Aチームは負けちゃったけど、みんな楽しんでできてよかったです。次にあめ食い競争をしました。みんなで10回くらい回って、転ぶ人もいれば、ふつうに走っていく人もいておもしろかったです。次にパン食い競争をしました。私はなかなかとれなかったです。

その中でも、特に速かった人がいます。それは菅原寮長でした。びっくりしました。最後に一升びんリレーを楽しみました。終わってよかったです。子ども会やくいんとして楽しく、笑って終わってよかったです。

児童H

今回、良い雰囲気できたことが、何より達成感ができています。つな引きでは負けてしまったけど、とっても楽しくできました。自分は、結果どうこうよりも楽しくすることが唯一の目標だったので、それができて良かったです。アメリ食い競争でも同じく楽しめました。顔が真っ白の人がいました。とても笑えました。次のパン食い競争でも、うまくできなくなると、途中で抜けることもなく、一生懸命応援していたので、とっても良いと思いました。リレーでは最後、途中で終わっても「あいつのせいで！」とか、「あいつがこーであーで」って言う人が誰もいなかったなので、みんな心の広い人たちだなあと思いました。一生の思い出になりました。

お花見子ども会写真



今後の予定

- ・七月二十七日～七月二十八日
野外活動
- ・七月三十一日～八月二日
夏季休業
- ・八月四日
夏祭り子ども会

編集後記

新型コロナウイルスが五類扱いとなり、ようやく行動の制限が緩和されてきましたが、それでもすぐに以前の状態に戻る訳ではありません。手探りで進めていく状況はまだまだ続きそうです。

そんな中でも、子ども達は今できることを精一杯取り組んでいます。そして、子どもたちに元気をもらいながら、さわらび学園の職員一同頑張りたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願ひします。